



物価高騰対策

補正予算可決

12月議会

全市民に 1人5千円

(低所得世帯は1万円と併給)

住民税非課税世帯 1万円

(均等割のみ課税世帯も)

子育て応援手当 2万円

(0歳～18歳まで)

大学生等応援 2万円

(19歳～22歳まで)

物価高騰対策

第4回市議会最終日の12月22日、国の地方創生交付金を活用した物価高騰対策の補正予算が採択されました。②と④は共産党市議団が求めたものです。

その内容は

- ①全市民に1人あたり、5千円の支給
- ②住民税非課税世帯・均等割のみ課税世帯に1世帯1万円の支給
- ③子育て応援手当1人2万円の支給(0歳～18歳まで)
- ④大学生世代に1人2万円の支給(19歳～22歳全員。働いている人も対象です)
- ⑤医療機関へ病床1床あたり5万円を支給

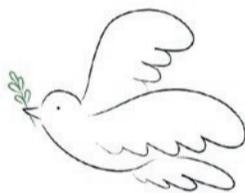


日本共産党市議団提出 12月議会

「非核三原則の堅持を求める意見書」

可決

賛成は共産など11名
反対は自民と分・維新の10名



日本共産党市議団が提出し、他5人が共同提案した「非核三原則の堅持を求める意見書」が共産、公明、立憲などの賛成多数で可決。賛成しなかったのは自民と分・維新(三宅、きたみ議員)でした。

意見書は、「非核三原則は日本の国是とした『核を持たず、作らず、持ち込ませず』という基本方針である。高市早苗首相は、非核三原則の見直しを検討しようとしている。非核三原則のなし崩し的な見直しは、唯一の戦争被爆国としての日本の信頼を損ないかねない。『粕江市平和都市宣言』では、非核三原則を守り、核兵器完全禁止・軍縮、全世界の非核武装化にむけて努力することを宣言している。去年は、日本原水爆被害者団体協議会が、ノーベル平和賞を受賞した。核廃絶への流れは、世界の大きな流れとなっている。そのような中で、唯一の戦争被爆国の日本が非核三原則を見直すようなことがあっては、核廃絶への流れに逆行することになる。非核三原則の堅持を強く求める」と述べています。

▶12月議会で質問しました

「視覚障がい者が安心して安全に暮らせるように」



粕江駅北口側道ジグザグ点字ブロック

1 点字ブロックを真っ直ぐにして！と要望

粕江駅北口側道、泉の森会館までの歩道にある点字ブロックは10回方向を変えないと行けません。

なぜジグザグにしたのか

「なぜジグザグにしたのか、真っ直ぐにして」の求めに、市は「坂道を下る自転車のスピードを抑制するため、都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル等も参考に整備、今のところ見直すことは考えておりません」と答えました。

ところが、まちづくり条例は「視覚障害者の歩行動線を考

慮して、最短距離で目的地に辿り着けるよう誘導、連続的かつ極力直線的に敷設する」と記されています。

私は「障害者差別解消法などどうたわれている障がいのあるひともない人も平等に暮らせる社会という観点から見ていたのではないかと指摘し、「合理的配慮を行わないことは差別です。改めてジグザグを直して歩きやすい点字ブロックにしてください」と要望しました。

2

みらいテラスの点字ブロックが銀色！ 点字ブロックって誰のためにあるの？



こまみらいテラス受付まで 銀色の点字ブロック

裏面に続く

点字ブロックといえれば誰もが「黄色」と思っていると思います。ところが驚くことに、リニューアルした「こまえみらいテラス」の受付までの点字ブロックは銀色です。

デザイン重視？ 銀色では認識できなかった

私は視覚障がい2級の弱視の方と歩いてみました。外の黄色のブロックは認識できませんでしたが、中に入って「銀色の誘導ブロックがここにありませんよ」とお知らせしましたが、「アツわからなかった」と認識できませんでした。

視覚障害者団体 「黄色で統一を」と強く要望

国土交通省のガイドラインは「誘導用ブロックの色は、黄色その他の周囲の路面との輝度比が大きいこと等により当該ブロック部分を容易に識別できる色とする」と記されています。視覚障害者団体も「黄色で統一を」と強く要望しています。

私は「点字ブロックの本来の目的・役割、誰のためになるのが欠けていたのではなかいか」と指摘しました。

▼12月議会で質問しました

高すぎる国保税の 値上げは中止を！

国保加入者は低所得

国保加入者は高齢者や非正規雇用が多く、所得200万円以下が72%と低所得層が多く占めています。経済的には厳しいにもかかわらず、より医療を多く必要としている人が多いという構造的課題を抱えています。

明政権は2018年度から市独自の「その他繰り入れ」をゼロにするよう押しつけてきました。狛江市でも2032年までに繰り入れをゼロにする計画のもと、2年ごとに値上げを実施してきました。



4人世帯のモデルケース

所得300万円子ども2人（小学生、中学生）の4人世帯では

現在の保険税：42万7千円

7年後は：61万4700円！

増加率59.4%、22万9千円もの値上げとなる

と同時に国庫負担の額を求め、保険税の値上げは中止を」と求めました。

市は「来年度の税率は据え

おく。今後は財政健全化計画の改定議論の中で、国保運営の協議会において引続き議論していただく」と答弁しました。

▼12月議会で質問しました

狛江団地建替え問題

1期の移転

1〜2月一番寒い時

狛江団地の建替え問題は、20年計画で進められています。住民のみなさんは、東京都が示すスケジュールに追いつけられていくようです。いよいよ第1期の移転世帯は行く先が決定し、1〜2月移転のため引越しの準備に追われています。

多くの相談・不安

こまほっとシルバー相談室には、引越し業者の選定、転居に向けた家財整理についての相談、転居に伴い住み慣れた地域や人から離れることによる寂しさや、介護等の支援者が変わることへの精神的な負担など、様々な不安が寄せられています。



建替えが決まっている狛江団地

この間住民のみなさんと私は「転居が困難な人には、狛江団地の空き室へ入れて」と求め続けてきました。

ところが東京都は「壊す団地には修繕費をかけるわけにいかない」というただ1つの理由で、空き室への入居を拒み続けています。

私は「86歳女性からは『歩行困難で週3回デイサービスでお世話になり、ヘルパーさんの助けで生活しています。介護事業所、ヘルパーさんが変わったならとてもしんどいです』の声がある。90代の介

と紹介しながら、空き室への入居を求めました。市は「都に伝えています」の冷たい答弁でした。

私は「全国知事会が国庫負担1兆円の投入を求めている。市は、市民のくらしを守るため、その他繰り入れを増やす

と再度求めました。

護5のお父さんと暮らしている方は『父は心不全のため訪問診療や介護サービスを利用してほしいです』と切実です」と紹介しながら、空き室への入居を求めました。市は「都に伝えています」の冷たい答弁でした。私は「伝えるだけでなく、市民の命、人権を守る立場から都に要請していただきたい」と再度求めました。

生活なんでも相談

くらし、子育て、仕事…
なんでも お気軽にご相談ください



生活相談

宮坂良子事務所
毎月第2土曜日10時〜12時

法律相談

毎月第1火曜日13時〜15時
(予約してください)

連絡先

事務所：和泉本町4-1-10-105 ☎ 3480-1895 自宅☎ 5497-2828
携帯☎ 080-1268-9295 メール yoshiko.1228@docomo.ne.jp